

## ② 災害伝言ダイヤルなどによる連絡方法

### 災害伝言ダイヤルサービス

大災害発生時、安否確認などの電話が集中してつながりにくくなった場合に提供されるサービスです。

①伝言録音＝自分の情報を相手に伝えたいとき

**[171] ▶ [1] ▶ [自分のTEL] ▶ [自分のメッセージ録音]**

※暗証番号がある場合 [171] ▶ [3] ▶ [暗証番号] ▶ [自分のTEL] ▶ [メッセージ]

②伝言再生＝相手の情報を聞きたいとき

**[171] ▶ [2] ▶ [相手のTEL] ▶ [相手のメッセージ再生]**

※暗証番号がある場合 [171] ▶ [4] ▶ [暗証番号] ▶ [相手のTEL] ▶ [メッセージ]

- 伝言蓄積数／1電話番号あたり1～10伝言
- 伝言録音時間／1伝言あたり30秒利用
- 伝言保存期間／2日間(48時間経過すると自動消去)
- 利用可能電話／一般加入電話、公衆電話、携帯電話、PHS

### 携帯各社の災害伝言サービス **※事前の登録が必要です。**

大災害発生時、携帯電話から家族や友人の安否確認ができ、各社の登録情報は相互に閲覧できます。インターネットからも安否情報の確認が可能です。

①伝言の登録 メニューから「災害伝言板」を選び「登録」に伝言を登録

②伝言の確認 メニューから「災害伝言板」を選び「確認」から伝言を確認

### 各社へのアクセス



NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

au by KDDI <http://dengon.ezweb.ne.jp/>

ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>

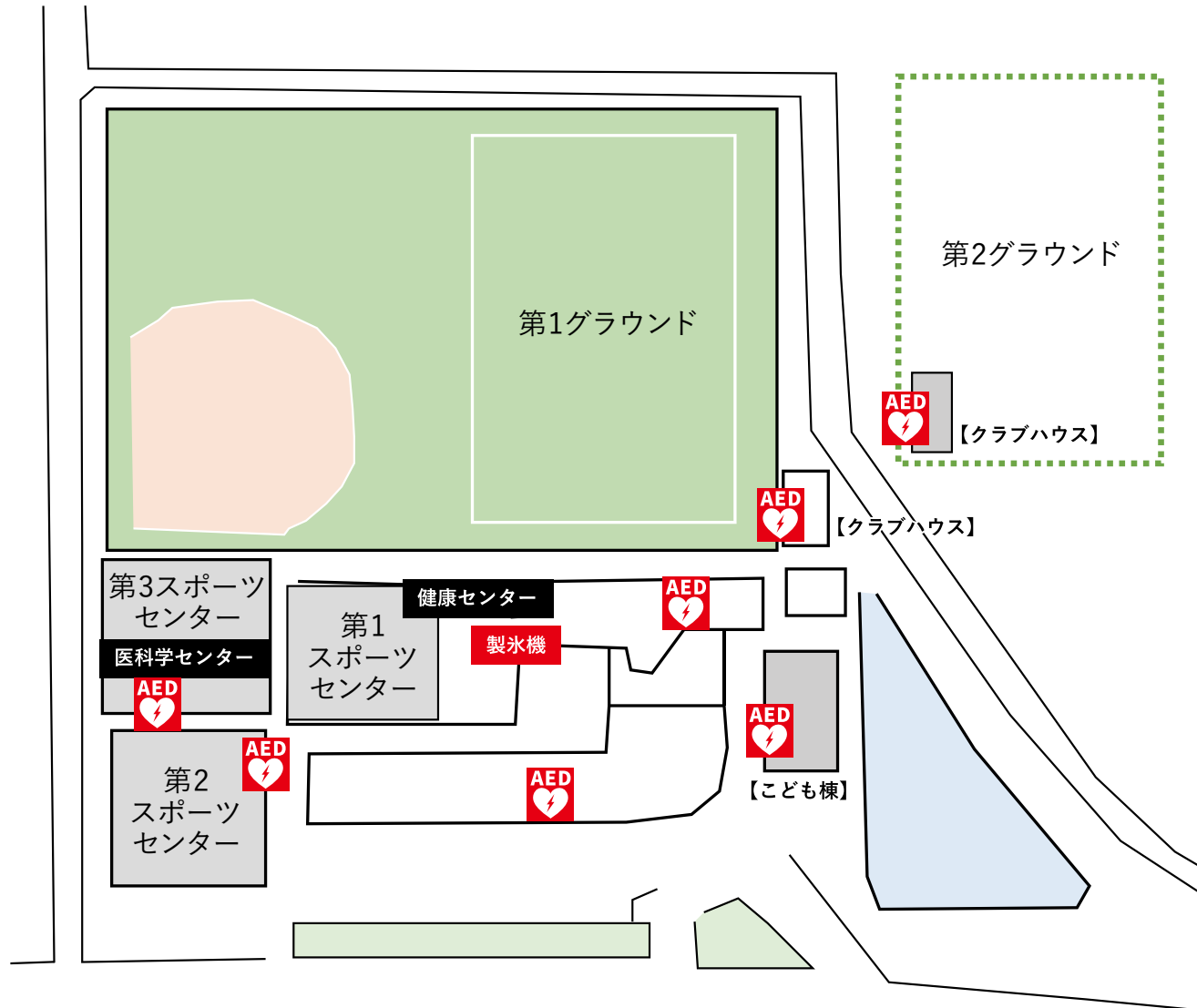
## ③ 日頃から準備しておくこと

- 別々の場所にいたり、避難の途中ではぐれた時のために、家族・友人との集合場所を決めておく。
- 家族・友人との安否確認の方法を確かめておく。
- 災害伝言サービスの確認と登録(メール宛先等の事前登録が必要)を済ませておく。
- たんすや書棚等の転倒防止対策を済ませておく。
- 食料、飲料水の備蓄や、非常持ち出し品の準備をしておく。

### 日頃から準備しておくことと安心な物

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 3日分の非常食、飲料水 | <input type="checkbox"/> 身分証明書(免許証など)                                     |
| <input type="checkbox"/> 現金、預金通帳、印鑑  | <input type="checkbox"/> パスポート、外国人登録証(留学生)                                |
| <input type="checkbox"/> 救急箱(常備薬等)   | <input type="checkbox"/> 懐中電灯、ローソク、携帯ラジオ                                  |
| <input type="checkbox"/> 乾電池、マッチ     | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ティッシュ、ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> ひも、ロープ      | <input type="checkbox"/> 缶切り、栓抜き <input type="checkbox"/> 運動靴、スリッパ        |
| <input type="checkbox"/> 上着、下着、靴下    | <input type="checkbox"/> 洗面用具   |

## ④ 磐田キャンパスAEDマップ



**保健センター**

ベッド(2台) 冷蔵庫 救急箱

**第1スポーツセンター**

AED

**第3スポーツセンター**

AED

**スポーツ医科学センター**

トレーナーベッド(2台) 車椅子

**第2スポーツセンター**

AED

**サッカークラブハウス**

AED(備付+携帯用)

**磐田市**  
**ハザードマップ**

# 大地震

# 対応 マニュアル



SSU EXIT

このマニュアルは震度6弱以上(建物の損壊や交通機関に大きな損害がでるような地震)の地震を想定しています。身の安全を守り、落ち着いて行動してください。



## 緊急地震速報

### 南海トラフ地震注意報が出たら

- 学内外での講義・課外活動は直ちに中止し、速やかに帰宅する。
- 注意報が発令された日から「災害発生の恐れがない」と発表されるまでの間、休講とする。

※授業再開などの連絡は、ホームページなどでお知らせします。

### 南海トラフ地震警戒宣言が発令されたら

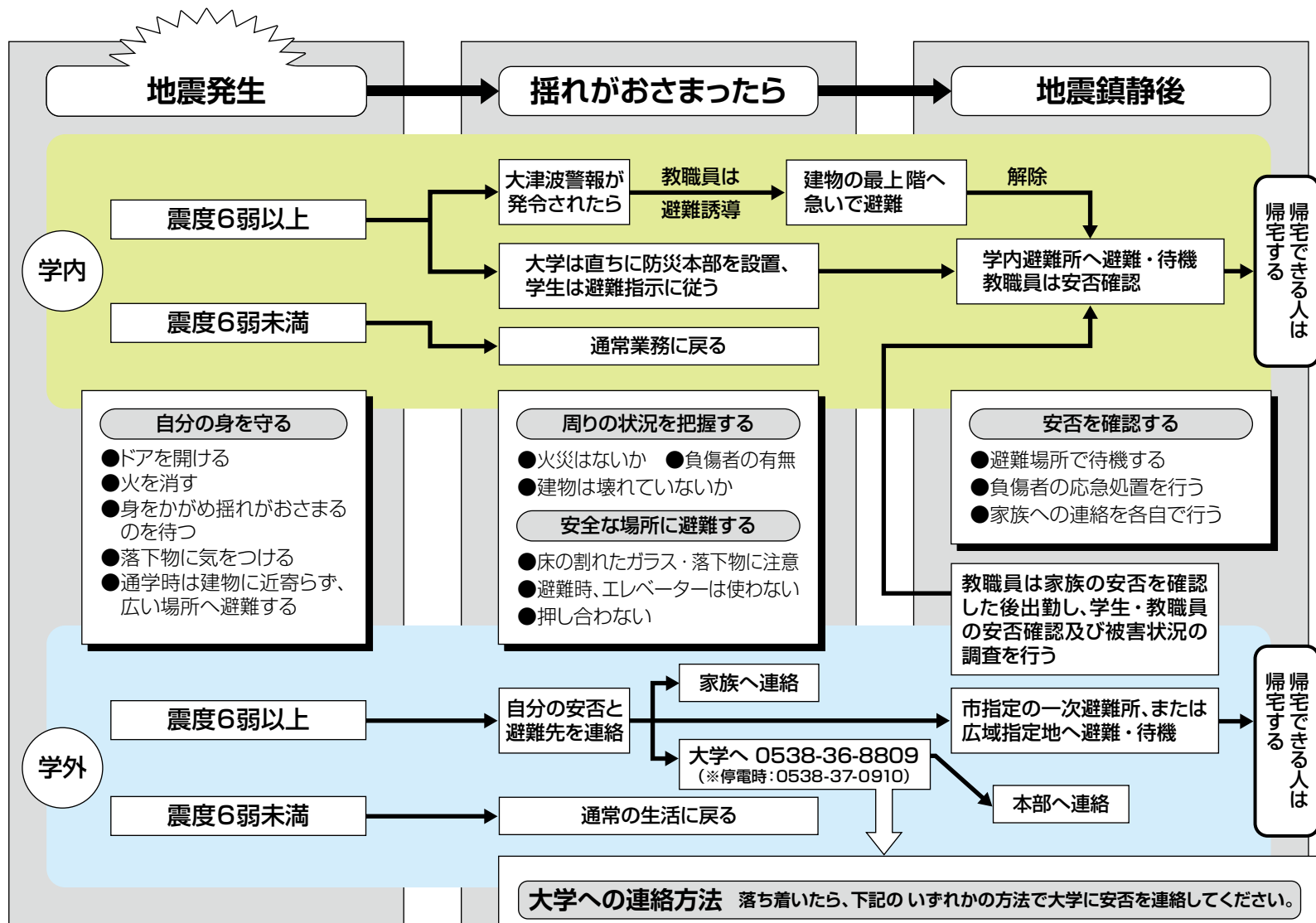
- 速やかに安全な場所に避難する。
- 帰宅困難の場合は大学で待機する。

※警戒宣言とは2、3日以内または数時間以内に大地震が発生するとの警告です。

## 警戒宣言発令後の交通機関

- 【路線バス】**  
付近の安全な場所まで走行し、そこで運転中止
- 【鉄道】**  
最寄りの安全な駅まで走行し、そこで運転中止
- 【道路】**  
緊急輸送路確保のため、交通規制がされる

# ① 地震発生後の行動マニュアル(学生・教職員)



- ### 自分の身を守る
- ドアを開ける
  - 火を消す
  - 身をかがめ揺れがおさまるのを待つ
  - 落下物に気をつける
  - 通学時は建物に近寄らず、広い場所へ避難する

- ### 周りの状況を把握する
- 火災はないか
  - 負傷者の有無
  - 建物は壊れていないか
- ### 安全な場所に避難する
- 床の割れたガラス・落下物に注意
  - 避難時、エレベーターは使わない
  - 押し合わない

- ### 安否を確認する
- 避難場所で待機する
  - 負傷者の応急処置を行う
  - 家族への連絡を各自で行う
- 教職員は家族の安否を確認した後出勤し、学生・教職員の安否確認及び被害状況の調査を行う

### これだけは忘れないで!

- 地震発生**
  - 机の下に隠れる
  - バッグ等で頭を守る
  - 窓や棚から離れる
  - とにかく落ち着く
- 揺れがおさまったら**
  - 余震に気をつける
  - 危険な場所には近づかない

### 大学への連絡方法

落ち着いたら、下記のいずれかの方法で大学に安否を連絡してください。

- ①電話による連絡  
TEL.0538-36-8809  
※停電時: 0538-37-0910
- ②Eメールによる連絡  
k-gakusei@ssu.ac.jp  
※停電でサーバーがダウンしたり、通信ケーブルの断線でインターネットが使えない場合があります。

〈大学からの連絡〉  
災害用伝言ダイヤルを使って、大学からのメッセージを伝えます。  
TEL.171-2-0538-37-0191  
避難地情報、災害情報、所在・安否確認に関するメッセージ、授業等に関する情報、その他大学に関する情報等を知らせます。